

令和4年度 村上市1層2層互近所ささえ～る隊 合同研修会

第1層 村上市互近所ささえ～る隊

R4年度 活動報告

村上市互近所ささえ～る隊

齋藤芳和(社会福祉法人 村上岩船福社会 本部事務局)



令和4年度 活動目標

地域の担い手の育成

助け合いの担い手養成講座を『合同学習会』として開催する
おたがいさまだねっか講座をシリーズ化

おたがいさまだねっか講座

「生活支援編」と、「運転ボランティア編」の企画



『いつもありがとね～』

お互いさまだねっか講座

～いつか自分が困ったときに「助けて」と言える地域へ～



日時 令和4年11月10日(木) 13:30～15:30

会場 村上市民ふれあいセンター 大ホール

内容 ◆ボランティアを通して私にできること

発表者：県立村上高等学校 2年 岡田 碧 様

◆「なにか困ってることはありませんか～？」

山居町一丁目区「互近所ささえ～る隊」活動開始GO！

発表者：山居町一丁目区隊員・事務局（民生委員）滝波 智衛 様

◆8月3日からの大雨による災害ボランティアに参加して

発表者：村上地域まちづくり協議会 会長 木村 三男 様

◆発表者とディスカッション



『いつもありがとね〜』

お互いさまだねっか講座 ~生活支援編~



参加者 148人

アンケート回収 90人

(住まい)

荒川地域 5
神林地域 13
村上地域 57
朝日地域 10
山北地域 5

(年代)

39歳未満 1
40歳代 5
50歳代 5
60歳代 19
70歳代 52
80歳以上 8

(所属:複数回答あり)

一般市民 26
茶の間リーダー 21
老人クラブ 8
区長 6
民生委員 15
まち協関係者 10
互近所ささえ~る隊関係者 13
回答なし5
その他(集落支援員、NPO、
区長代理、ささえあい 各1)

(町内での話合い希望)

はい :54人
村上 14、荒川 2、神林3
朝日 1、山北 1
いいえ:6人
その他:2人
未記入:28人



ボランティアを通して私にできること

県立村上高等学校 2年 岡田 碧 (ラグビー部マネージャー)

託児ボランティア

- ・自分から相手に寄り添うことで簡単に人と仲良くなれる
- ・お母さんが自分の時間を過ごせる場所がある

除雪ボランティア

- ・寒いし、雪が重たい、何よりも多い (>*<)
- ・お年寄りの方々だけでやるとなったら本当に大変！

災害ボランティア

- ・あまりの被害に大きさに驚いた
- ・いつ戻るのか、不安や心細さ、**自分が行って何ができる？** 笑顔と元気な挨拶を心がけた



ボランティアを通して私にできること 高校2年 岡田 碧さん

私大切にしていること相手の気持ちを考えて行動すること

相手のためになにができるか人を優先に考える

1人でも多くの人に笑顔になってほしい

困っている人を見過ごしてはいけないこと

人に寄り添う気持ち・人とのつながりを大切に

私の思い～みんなで寄り添い合う気持ちを持って、支え合う町に～

人のために何かするのが好き

好きなことに感謝される＝嬉しい

これからも人を笑顔に出来る活動に挑戦します！

ボランティアは
された側だけでなく
した側も嬉しくなれる



“何か困ってることありませんか～？”

山居町一丁目区「互近所ささえ～る隊」活動開始GO！

山居町一丁目区隊員事務局（民生・児童委員） 滝波 智衛

『山居町一丁目区互近所ささえ～る隊』が結成された経緯

出前講座を企画し、有志で町内のささえあいについて話し合う

見守り先のリスト作成

65歳以上の一人暮らしで、見守りが必要だと思われる人(約30人)

見守り先の担当者決め(見守り時の留意点の共有)

※朝日地域の「早稲田おせっかい隊」との情報交換

※隊員にアンケート調査

会議で情報を共有し、話し合う

- ・周知のためのチラシを作成しよう
- ・訪問時に活用できる訪問カードを作成しよう
- ・隊員の名札を作ろう



【活動する中で感じること】

- ・ちょっとしたお手伝いに対して、**とても喜ばれた**
- ・同じ地域に住む**高齢者の居住地**がよくわかった
- ・少子高齢化について、**自分事として考えることができた**

【改善点】

- ・**隊員同士の情報交換の場づくり**
- ・**より自然体での声かけ**

【今後に向けて】

- ・**自然にお隣さんに目配りできるまちに**
- ・**隊の思いが次世代にも受け継がれ、安心して暮せるまちに**



8月3日からの大雨による災害ボランティアに参加して

村上地域まちづくり協議会 会長 木村三男

【村上地域まち協の目指すべき将来像】

⑥共助・共援の活動が広がり、高齢者・障害者にやさしいまちになっている

すぐに役員に声をかけ、会員に声をかけてもらった

坂町、花立、川部の3か所で活動
参加者延べ32人
持参するもの ボランティア保険・・・

活動日 8月11日(木)
8月21日(日)
9月11日(日)

水に浸かった物の撤去や、泥・土砂出し)猛暑の中、参加者が懸命に取り組んでくれた

知人のピンチに、居ても立っても居られなかった



8月3日からの大雨による災害ボランティアに参加して

村上まち協会長 木村三男さん



今、困っている



今、動かなくてどうするの

『論より動く』

村上高等学校 岡田さん の発表を聞いて…

- ・若い人も頑張っている、**私も頑張らなきゃ。自分にもできることがあるかも。**
- ・ボランティアの精神が育っている。人を助けたいという尊い気持ちに感動した。
- ・心強く思いました。心があたたかくなりました。
- ・ボランティア**する側とされる側**、**どちらの気持ちも考えること**の大切さを改めて感じました。

- ・もっと**若い人にがんばってほしい。**
- ・こんなふうに**地域を考えてくれる人がいると**、将来安心して暮らせる町になるなと思った。



山居町一丁目 滝波さん の発表を聞いて…



- ・**発足に至った経過**や目的、活動内容が理解できた。
- ・**まち場**でこういった活動を組織化されているのは素晴らしい。
- ・**マネできそう、自分の町内でも会を発足させたい。**
- ・滝波さんのリーダーシップに拍手です。
- ・「自分たちのことは自分たちで」という考え、そして実際に動くことができる行動力素晴らしいと思いました。
- ・自分の町内にも**作ってもらいたい。**
- ・**うらやましく思いました。**現実はこのような取り組みは**難しい。**
私の住む町内は、**人員・世帯不足**である。

村上まち協 木村さん の発表を聞いて…



- ・まち協のことを少し知ることができた。
- ・まず動く！理屈は後でついてくる。ボランティア精神の醸成を**行政、まち協、地域で協力してやることが大事。**
- ・「論より動く」行動しなければ意味がない。本当にそうだと思った。
- ・**地域の中で、自分ができるとは何かな、**ということを考えさせられた。
- ・日頃のコミュニティや人と人とのつながりが、大きな力になると感じた。**行政を頼りにせず動ける力を持っている**リーダーや仲間がいることの大切さもわかった。
- ・なかなか活動が見えません。**もっと多くの市民が参加できるよう取り組んでほしい**と思います。

令和4年度 村上市互近所ささえ～る隊 地域の担い手研修会



『ついでに、乗って行げっしゃ』

お互いさまだねっか講座

～運転ボランティア編～



令和4年11月25日(金) 13:30～15:30

講義「笑顔で運転を続けましょう」

講師 村上中央自動車学校 講師(副校長) 木村 徹 氏

対象者限定 ささえ～る隊、ささえあい村上会員等

参加者 26名 (アンケート回収 16名)

所属 (複数回答可)

ささえ～る隊のメンバー…10

ささえあい村上の協力会員…5

行政職員…2

その他…4(買物支援、元ささえ～る隊、希楽々運転員)

【あなたは、運転ボランティアとして活動してみたいと思いますか】

- ・はい…1
- ・いいえ…3
- ・既に活動中…5
- ・その他…7(考え中2)

お互いさまだねっか講座 ～運転ボランティア編～

【今後、運転ボランティアを地域に広めるために必要なことは何だと思いませんか】

- ・住民のボランティア意識の向上…5
- ・各地区単位でボランティア等のしくみをつくる…9
- ・もしもの時の保険などの整備…7
- ・ささえあい村上への登録促進…2
- ・その他…4

(運転ボランティアは、別の有償ボランティアとして考える／周知、運転ボランティアがあること／市全体で運転ボランティアの具体的なしくみをつくれれば参加しやすくなる／信用・信頼、「奴の運転は怖い」では、ボランティア失格)

・安全運転はボランティア運転以前に重要。**地域や状況に応じた**ボランティア運転の組織作りが必要。



令和5年度の主な活動(予定)



- ▶ 互近所ささえ～る隊 合同学習会「おたがいさまだねっか講座」の開催に向けた準備
- ▶ 運転ボランティア育成に向けた情報収集や準備

R5年度から2層の生活ささえ愛隊長を中心に1層を構成することにしました。

1層 村上市互近所ささえ～る隊

あらかわ生活
ささえ愛隊長

かみはやし生活
ささえ愛隊長

むらかみ生活
ささえ愛隊長

あさひ生活さ
さえ愛隊長

さんぽく生活
ささえ愛隊長

